令和8年度　地域連携推進会議　議事録

事業所名	社会福祉法人　桃蹊会　障害者支援施設　霧島青葉園
日　　時	令和8年10月27日(火)　　PM　14:00　～　15:15
会　　場	霧島青葉園　(会議室)
出席者	・利用者代表　霧島青葉園　利用者 ・構成員A様　利用者ご家族代表 ・構成員B様　地域関係者代表 ・園長　木山　竜太 ・サービス管理責任者　永江　麻依子 ・サービス管理責任者補佐兼生活支援員　中村　麻宣　　計　6　名
会議内容	・開会の言葉　園長挨拶 ・施設の概要の説明 木山園長より、施設概要の説明が行われた。施設の沿革の説明において、開設51年目であり開設当初から入所されている方がいらっしゃる事を伝えると、構成員の方は驚かれていた。 利用者の構成についても説明が行われた。障害種別は元々が身体障害者療護施設であったため、身体障害の方が一番多く、続いて知的障害、精神障害となっている。 障害区分は介護保険で言う介護5に該当する、6や5の方がほとんどで平均も5.6と重度の方が、増えている状況である。 平均年齢も66.6歳と高齢化が進んでいる状況である。 障害種別は脳性麻痺の方が一番多く、次に知的障がいの方が多い状況である。外傷により後天的に障害を持たれた方もいらっしゃる。 市町村別で見ると、霧島市が多く、近隣の姶良市や湧水町、伊佐市も多い。遠いところでは、奄美市の方もいらっしゃる。県内はもちろん県外からも受け入れを行っており、過去には、東京都からの方もいらっしゃった。 内部研修について、様々な研修を行っている。BCPについては、昨年に噴火した新燃岳の災害を想定した訓練や、新型コロナウイルス感染症のシュミレーション等を行っている。また、利用者様の安心・安全を守るため、防犯対策の強化、不審者対応防犯訓練を必ず行っている。 消防訓練も日中と夜間を想定して、年に2回は必ず行っている。 外部研修も、県社協や介護福祉士会の主催するものに参加し、技術や意識向上に努めている。 ・施設の紹介 永江サービス管理責任者より施設パンフレットや園便りを使用し、日常の利用者様の様子を紹介する。 ・施設見学 中村サービス管理責任者補佐より、施設の見学・説明を行う。

意見交換	・概要説明時 構成員A様「東京からの方は、ご家族が施設の近くだからだったのか」 園長「この方については東京都の施設に空きがなく、待機時間が長くなることから、措置入所にて入所となった。ご家族が近いところが良いとのことで入所される方もいらっしゃる。」 構成員B様「霧島市内の方だけと思っていたが、遠方からの入所もあることが分かった。」 サビ管補「高齢者施設は住所地の施設入所が多いが、障害については様々です。」 ・施設見学時 構成員A様「病院に勤務しているが、施設特有の排せつ臭がほとんどないのが良い。また、居室や施設全体が広く、食堂も眺めよくて良い。」 ・質疑応答 構成員A様「この施設があることを知らなかった。入所している妹が入院し医療ケアが必要になり以前入所していた施設へ戻ることが出来ず、家に連れて帰らないといけないかと不安になったが、病院より紹介を受けこの施設があることを知った。きっと知らない人たちが多く、入所に繋がらないのではないか。」 園長「現在は、毎月事業所への訪問を行い、施設を知ってもらうよう取り組んでおり、だんだんと認知されてきている。」 構成員B様「私も、施設の中に入ったのは初めてだった。何かあったら知り合いなどにも紹介したいとおもう。」 構成員B様「様々な研修に取り組まれており、大変だと思いますが、これからも頑張ってください。」
まとめ	施設の環境や職員の取り組みに対して肯定的な意見が寄せられた。一方で、施設の存在や役割を、支援を必要とする方や家族に知ってもらうための周知が課題として挙げられた。 周知活動して、現在、毎月、病院や事業所を訪問し、施設の紹介や情報提供を行っている。 今後は、家族に毎月送付している園便りを地域代表者にも毎月送付し、施設の取り組みや利用者の日々の様子を継続して伝えていく。
備考	次回の議題 開催日時(　令和 9 年 10月～11月 予定)